第 64 期 北海道支部支部長あいさつ

第 64 期北海道支部の支部長を拝命しました、北海道ガスの松永です。2023 年度の支部事業のスタートに際して、一言ごあいさつ致します。

日本機械学会の北海道支部規則（以下「支部規則」という）の第 4 条には、支部が行う事業が規定されております。若手研究者を対象とした支部講演会や学生を対象とした卒論研究発表会などといった「１．講演会の開催」、「２．見学、視察会の開催」、そして、機械の日・機械週間の関連事業、懇話会などへの協賛、各種表彰などといった「３．その他適当と認められる事業」の３点です。一方、支部の主な課題は、会員数とくに若手会員数の維持・拡大、そして支部規則第 3 条（目的）に規定されている「支部会員の学会活動を盛んにすること」です。

先般、前述の支部講演会と卒論研究発表会（同日／同一会場）が面対でのリアル開催が実施され、私も聴講させていただきました。発表者の中には、緊張のあまり不本意なプレゼンだったと思われる学生も居ましたが、こういった機会を提供できるのが学会の存在意義であり、聴講された方々の活発な質疑応答にリアル開催の長所を感じました。

新型コロナウィルスの感染拡大は、支部活動に大きな影響を与えました。さまざまな事業の休止、オンラインでの再開を経て、最近、一部の事業についてリアル開催を実施しました。オンラインとリアル開催にはそれぞれ一長一短があると認識できましたが、参加人数や意見交換の濃淡を考慮した使い分けを積み重ねながら、移動負荷の高い北海道支部で活動のメリハリを模索していきたいと考えております。

会員の皆さんから、ご理解ご協力を頂ければ幸いです。よろしくお願いします。

2023 年 3 月

第 64 期北海道支部　支部長　松永吉弘〔北海道ガス〕